

7月18日 大分空港関係者 清掃活動

武蔵町の糸原海岸で、全日本空輸と大分航空ターミナル、東国東森林組合による海岸清掃が行われました。この清掃活動は、全日本空輸(株)が空港周辺の環境整備の一環として始まったもので、今回で10回目を迎えました。この日は、47名の方が集まり、草刈りや清掃活動を行いました。



7月11日 「森も大切にしよう」 両子の森プロジェクト

安岐町両子で「両子の森プロジェクト」として草刈り作業などが行われました。



両子の森プロジェクトは、自然の森を再生することで、水循環や土壌回復を目指す取り組み

で、平成23年に1,200本の植樹をしたことから始まりました。作業後、参加した約100名の皆さんは、流しそうめん、交流を深めていました。



6月29日 今年もウミガメの産卵を 願って海岸清掃

国東町の黒津崎海岸でくにさき企業会などによる海岸清掃が行われました。



この清掃活動は、平成5年にソニーセミコンダクタ(株)大分TECが、地元の環境保全に貢献しようと始めたもので、その後くにさき企業会など参加団体を増やしなが

ら、23年間、延べ27回行われてきました。この日は、約250名の方が集まり、3班に分かれて黒津崎海岸の清掃を行いました。

7月20日 国高生 海岸清掃で ウミガメの保護活動を学ぶ

「NPO法人国東市手と手とまちづくりたい」の案内で、国東高校のJRCや生徒会、エコ委員会のメンバーなど42名が黒津崎海岸で清掃作業をしました。6月11日に同校で行われた「NPO法人国東市手と手とまちづくりたい」が講演したウミガメの保護活動に賛同しての



もので、ウミガメの生態についても学ぶことができました。

7月11日 龍神海岸に フレンチレストランオープン

武蔵町の内田龍神海水浴場に、フレンチレストラン「ドラゴン リヴージュ」がオープンしました。オープンを待ちわびて予約していたお客さんが、開店と同時に訪れていました。

「ドラゴン リヴージュ」の料理は、どれも国東で採れた食材をふんだんに使ったものばかり。お客さんは、目の前に広がる海を見ながら、国東の食材の良さを味わっていました。



7月10日 七島イの日 キャンペーン

国東市商工会女性部の皆さんが、大分空港到着ロビーで、手作りの七島イのお守りを配りました。このお守りは、4月末から毎週火曜日に集まって商工会女性部武蔵支部のみなさんが作ったもので、「幸せをかき集めて、もっと幸せに」という願いを込めてホウキの形になっています。国内唯一の生産地である国東地域の七島イを広く知ってもらおうと、7月10日(しっとうの日)



のキャンペーンとして、大分を訪れた方たちに七島イの匂いと手触りをアピールしていました。

6月23日 カザフスタンとイギリスの 大学関係者が国東市を視察



カザフスタンとイギリスの大学関係者の一行が、視察で国東市を訪れました。今回の視察では、九州大学と立命館アジア太平洋大学と交流し、日本の伝統文化を知る中で、新たなものを創造する目的で行われ、七島蘭学舎では国東



地域特産の七島イについて学びました。特にカザフスタンの方たちは、一部の地域で七島イに似た農作物が栽培されているということで、非常に関心を示していました。

7月7日 乾しいたけ キャンペーン



国東町小原の南部こども園で、乾しいたけキャンペーンイベントが行われました。このイベントは、大分県椎茸振興協議会の主催で、七夕の「☆(星)」と、乾しいたけの「乾し」をかけて、7月7日を「乾しいたけの日」として、啓発活動を毎年行っています。この日は園児たちに乾しいたけのケーキや七夕ランチで乾しいたけのおいしさをしっかりとアピールしていました。

7月5日 文溪里の会 農村博物館オープン

文溪里の会が、国東町大恩寺の旧大恩小学校に農村博物館をオープンしました。



この博物館には、田植え縄や馬鍬、種まき機などが展示されており、世界農業遺産に認定された国東半島宇佐地域の伝統的な農法を学ぶことができます。他にも、この地域で大正から昭和にかけて身の回りで使ってきた品々が数多



く展示されており、富来・大恩寺・葦藁地域の古き良き時代に触れることができます。